10　入院栄養食事指導料　130点
注　入院中の患者であって、別に厚生労働大臣が定める特別食を必要とするものに対して、医師の指示に基づき管理栄養士が具体的な献立によって指導を行った場合に、入院中２回を限度として算定する。
11　集団栄養食事指導料　80点
注　別に厚生労働大臣が定める特別食を必要とする複数の患者に対して、医師の指示に基づき管理栄養士が栄養指導を行った場合に、患者１人につき月１回に限り算定する。
12　心臓ペースメーカー指導管理料
イ　遠隔モニタリングによる場合　460点
ロ　イ以外の場合　320点
注１　体内埋込式心臓ペースメーカー等を使用している患者であって入院中の患者以外のものに対して、療養上必要な指導を行った場合に、イにあっては４月に１回に限り、ロにあっては１月に１回に限り算定する。ただし、イを算定する患者について、算定した月以外の月において、当該患者の急性増悪により必要な指導を行った場合には、１月に１回に限りロを算定する。
２　区分番号Ｋ５９７に掲げるペースメーカー移植術、区分番号Ｋ５９８に掲げる両心室ペースメーカー移植術、区分番号Ｋ５９９に掲げる埋込型除細動器移植術又は区分番号Ｋ５９９－３に掲げる両室ペーシング機能付き埋込型除細動器移植術を行った日から起算して３月以内の期間に行った場合には、導入期加算として、所定点数に140点を加算する。
３　区分番号Ｂ０００に掲げる特定疾患療養管理料を算定している患者については算定しない。
13　在宅療養指導料　170点
注１　第２部第２節第１款在宅療養指導管理料の各区分に掲げる指導管理料を算定すべき指導管理を受けている患者又は器具を装着しておりその管理に配慮を必要とする患者に対して、医師の指示に基づき看護師又は保健師が在宅療養上必要な指導を個別に行った場合に、患者１人につき月１回（初回の指導を行った月にあっては、月２回）に限り算定する。
２　１回の指導時間は30分を超えるものでなければならないものとする。
14　高度難聴指導管理料
イ　区分番号Ｋ３２８に掲げる人工内耳埋込術を行った日から起算して３月以内の期間に行った場合　480点
ロ　イ以外の場合　400点
注１　別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、高度難聴の患者に対して必要な療養上の指導を行った場合に算定する。
２　区分番号Ｋ３２８に掲げる人工内耳埋込術を行った患者については月１回に限り、その他の患者については１回に限り算定する。
15　慢性維持透析患者外来医学管理料　2,305点
注１　入院中の患者以外の慢性維持透析患者に対して検査の結果に基づき計画的な医学管理を行った場合に、月１回に限り算定する。
２　第３部検査及び第４部画像診断のうち次に掲げるものは所定点数に含まれるものとし、また、区分番号Ｄ０２６に掲げる尿・糞便等検査判断料、血液学的検査判断料、生化学的検査(Ⅰ)判断料、生化学的検査(Ⅱ)判断料又は免疫学的検査判断料は別に算定できないものとする。
イ　尿中一般物質定性半定量検査
ロ　尿沈渣顕微鏡検査
ハ　糞便検査
潜血反応検査、糞便中ヘモグロビン定性
ニ　血液形態・機能検査
赤血球沈降速度、網赤血球数、末梢血液一般検査、末梢血液像
ホ　出血・凝固検査
出血時間、凝固時間
ヘ　血液化学検査
総ビリルビン、総蛋白、膠質反応、アルブミン、尿素窒素（ＢＵＮ）、クレアチニン、尿酸、グルコース、乳酸脱水素酵素（ＬＤ）、アルカリホスファターゼ、コリンエステラーゼ（ChE）、アミラーゼ、γ－グルタミールトランスペプチダーゼ（γ－ＧＴ）、ロイシンアミノペプチダーゼ（ＬＡＰ）、クレアチン・ホスホキナーゼ（ＣＫ）、中性脂肪、ナトリウム及びクロール、カリウム、カルシウム、鉄、マグネシウム、Ｐ及びHPO_4、総コレステロール、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ（ＡＳＴ）、アラニンアミノトランスフェラーゼ（ＡＬＴ）、遊離脂肪酸、グリコアルブミン、１，５－アンヒドロ－Ｄ－グルシトール（１，５ＡＧ）、１，25ジヒドロキシビタミンD_3（１，25（OH）$_2D_3$）、ＨＤＬ－コレステロール、ＬＤＬ－コレステロール、不飽和鉄結合能（ＵＩＢＣ）、総鉄結合能（ＴＩＢＣ）、蛋白分画、血液ガス分析、アルミニウム、フェリチン、シスタチンＣ、ペントシジン
ト　内分泌学的検査
トリヨードサイロニン（T_3）、サイロキシン（T_4）、甲状腺刺激ホルモン（ＴＳＨ）、副甲状腺ホルモン（ＰＴＨ）、遊離トリヨードサイロニン（FT_3）、Ｃ－ペプタイド（ＣＰＲ）、遊離サイロキシン（FT_4）、カルシトニン、ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド（ＨＡＮＰ）、ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド（ＢＮＰ）
チ　感染症免疫学的検査
梅毒脂質抗原使用検査（定性）、梅毒脂質抗原使用検査
リ　肝炎ウイルス関連検査
HBs抗原、HBs抗体価、ＨＣＶ抗体価（定性、定量）
ヌ　血漿蛋白免疫学的検査
Ｃ反応性蛋白（ＣＲＰ）、血清補体価（CH_{50}）、免疫グロブリン、補体蛋白（C_3）、補体蛋白（C_4）、トランスフェリン、β_2－マイクログロブリン（β_2－m）
ル　心電図検査
ヲ　写真診断
単純撮影（胸部）
ワ　撮影
単純撮影（胸部）
16　喘息治療管理料
イ　１月目　75点
ロ　２月目以降　25点
注１　入院中の患者以外の喘息の患者に対して、ピークフローメーターを用いて計画的な治療管理を行った場合に、月１回に限り算定する。